福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	九州林産株式会社
代表者名	中島　豊
所在地	福岡市南区野間 3 丁目 7 番 20 号
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	建設業
電話番号	092-562-3014
ホームページ	https://www.q-rin.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	評価制度の見直しを図るワーキンググループを立ち上げ、従業員がやりがいを持って働ける職場を目指していきます。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：九州林産株式会社

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・産休・育休制度が整っており、取得しやすい環境である。 ・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、従業員の仕事と子育てを支援している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・時差出勤制度,時間休制度を導入するなど、柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・コンプライアンス窓口を設置し、社内窓口だけでなく、社外窓口も設置するなど、相談しやすい体制が整備されている。 ・新入社員に人権同和研修を実施している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・ノー残業デイを設定し、定時退社を促している。 ・産業医を取り入れ、社員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように取り組んでいる。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・新入社員研修、3年目研修、中堅社員教育など階層別研修を行い、教育訓練の機会を提供している。 ・人材育成と技術継承を目的に、新たな事業展開への気づきや効果的な業務改善活動を図るため、定期的に「イノベーションスクール」という社内スクールを開催してる。				○	○			○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・廃棄物発生量・有害化学物質使用量を把握し、内部監査時に管理方法の確認などを行っている。 ・廃棄物分別徹底を環境経営計画に掲げ、取組みを行っている。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・LED電球への切替、社屋の断熱塗装、不必要な照明の消灯、エコドライブの実施など、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。							○					○	○				
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・多様な生物生育環境の保全と事業活動がもたらす生態系への影響低減に向け、効果的な生態系の維持・回復対策の手法や手順、実施スケジュール等を「生物多様性保全ガイドライン」として取りまとめ、活動の実施と共に、データの収集・分析、改善策の検討に取り組んでいる。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・全社の上水使用量を把握し、目標を設定、改善を図っている。 ・ポットの余り水を、掃除や植物の水やりに活用。 ・節水機能付き上水器の設置や、節水の呼びかけの掲示をしている。						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・安全衛生推進委員会を設置し、年間活動計画の策定と実績管理を実施している。 ・経営層による安全パトロールを実施。 ・安全衛生会議および協力会社を交えた災害防止のための協議会を組織している。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・適切な森林管理によるCO_2吸収、持続可能な森林経営、環境緑地形成と環境保全対策、環境学習などを通して、持続可能な社会の形成に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報及び情報セキュリティの管理規定を策定している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の重要性を従業員に発信している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・リスクマップを作成している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									○		○		○			○	